


平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立乙訓高等学校 】

1 実践テーマ	【 II・V 】
2 実施対象者	スポーツ健康科学科 1年生（41名） 2年生（40名）
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（ スポーツ総合演習 ）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 (ねらい)	<p>北京五輪陸上男子4×400mリレー銀メダリストの朝原宣治氏からオリンピックへの道のりの講演をしていただき、競技をとおした人間形成、オリンピックへ関わることが将来にどのように生きるのか等、より高いレベルでの経験談を聞くことによって、人間力を高めることを目指す。</p> <p>また、大会におけるボランティアやメディア等、大会運営や支える視点での内容も講演いただき、五輪における「ボランティアが果たす役割」や「おもてなしの心」を学ぶ。</p>
5 取組内容	<p>北京五輪陸上男子4×100mリレー銀メダリストの朝原宣治氏に「オリンピックへの道のり～2020東京～」と題し講演会を実施。</p> 



6 主な成果	<p>オリンピックとの交流をとおして、将来への展望を持ちながら目標設定を行う能力を身につけることができた。また、大会運営の視点での経験談を聞くことにより、ボランティア等で五輪に関わる事の理解も深まった。</p>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>競技として参加する五輪だけではなく、それを支える大会運営の視点(特にボランティア等)に重点を置いた。また、競技を通じた人間形成、競技引退後のセカンドキャリアを含めて、生徒に将来の目標を設定することも重視した。</p>
8 主な課題等	<p>自身のパフォーマンスを高め成長するための方法や、競技をとおした人間形成について、実体験とともに生徒たちに話をさせていただき、生徒は参考になることが多く大変に感銘を受けた。</p> <p>今後も、将来を見据えた目標設定を行い、具現化するヒントになるようなスポーツをとおした将来像に結びつく体験をさせたい。</p> <p>大会成功の裏舞台を紹介いただき、運営について生徒の興味関心を持たせることができた。来年度は、より理解が深まる事業を行いたい。</p>
9 来年度以降 の実施予定	<p>東京五輪準備事務局に、実際に大会を成功させるための計画、取組を学ぶことで、スポーツのビッグゲームが社会にどれだけの影響を及ぼすのかを知ること、よりスポーツに関する理解を深める。</p>